



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2020-2021年度 鯖江ロータリークラブ

2020-21年度 国際ロータリーテーマ



ロータリーは
機会の扉を開く

2019-20年度 第2650地区スローガン

ロータリーの原点に戻る

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ



鯖江ロータリークラブ会長方針

こころ一つに
手と手繋いで

会長 野中 敏昭

第2940回
8/21(金)

8月第3例会

点鐘:12:45

テーマ「哲学上の幾つかの問題について」

会員
卓話 岩尾 顕治 会員

第2941回
8/28(金)

8月第4例会

点鐘:12:45

テーマ「めがねの生い立ちと現状について」

竹内光学工業(株)

卓話 竹内 良造 様

第2942回
9/4(金)

9月第1例会

点鐘:12:45

ガバナー公式訪問

※点鐘10分前までに昼食を終えご着座願います。

4つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

奉仕の理想

歌は歌わず、音楽を聴いてください。

幹事報告

瀧ヶ花 秀晃 幹事

・昨日8月20日(木)丹生高校就職模擬面接が行われました。

・鯖江高校就職模擬面接は9月30日(水)です。

・8月28日例会終了後、2階役員会室にて木村ガバナー補佐がご臨席のもと、クラブアッセンブリーを行います。各委員長は必ず出席願います。翌週の9月4日はガバナー公式訪問例会です、ジャケット・ネクタイ着用をお願いします。

ロータリーソング

野中 敏昭 会長

8月もお盆も過ぎ、連日連夜35度以上の猛暑日の連続で、熱中症で亡くなる方が毎日報道されていますので、ご注意ください。

ロータリーの友に2020-21年度RI理事会メ

出席率73.6%

8/21(金)
第2940回
例会報告

注:8/28例会終了後クラブアッセンブリー
(2階役員室に於いて)

鯖江商工会議所 4階大ホール

会長の時間

ンバーに姉妹クラブであります「楊梅RCクラブ」会員のチーテン「サージョン」リョウ様が紹介されていました。

先日蝶々さん(最後の武士の娘)という番組を見ました。元佐賀藩の士族の娘としての誇りをもって生きて生涯を描いたドラマでした。そこで、墓参りとドラマから、武士道について考察してみました。「武士道」とは、自分自身の心と向き合う「自己規律」・「精神」の強さを表す言葉であり、他者を力尽くで圧倒したり、外界に見せびらかすパフォーマンスではありません。これは日本の美学であり、「心の姿勢」を表す「道徳心」の集大成なのです。そして「武士道」とは武士を意味する言葉ではありません。ましてや刀を使い武力で闘いを行う事でもありません。それどころか反対に武士道精神を生かして争いや戦争を止める為のものなのです。ですから「武士道精神」を極めた日本人は、いらぬ争いや戦いは避けて行わないのです。

武士道精神は、孔子の教えである儒教の「五常の徳」すなわち、仁、義、礼、智、信に基づいており、武士だけでなく女性にも子供にも万人に与えられる精神なのです。この精神の中で人を区別・差別する事はありません。この点が西洋とは大きく違うところなのです。西洋の騎士道は外界に対して、美しさをアピールするパフォーマンス的要素が強いのに対して、日本の武士道・美は、自己規律の精神であり、外界に見せびらかすものではありません。孔子の教えである儒教の「五常の徳」であります。「仁」は情けを表し、たとえ敵でも相手に情けをかけるのです。「義」(ぎ)はフェアプレーを表し、たとえ勝負に勝っても不正行為で得た勝利は賞賛されないのです。「礼」は他人に対する思いやりを表し、相手に見える形で表します。「智」は物事の本質を見極め、常に切磋琢磨し、より良い手法を得ようとする心得なのです。「信」は信じる強さ・信頼を表し、本来の日本では契約という概念なくとも口約束で十分事足りるのです。「忠」は愛する者への自発的忠誠心を表し、これは強制されるものではありません。無能な上司、主に服従、愛する行為を忠とは言わないのです。したがって尊敬していない者、愛してしない者への忠誠心は存在しえないのです。「誠」は言+成=言った事を成す。とした意味があり、一度でも口にした事は命がけて守り、守れなければ死をもって償わなければならないのです。すなわち「信」が成り立つのは、「誠」

あつての事なのです。このように武士道とは、人が人として美しく生きる「姿勢」にあり、見せかけだけのパフォーマンスではないのです。武士の基本となる武士道精神とは、人が人として生きる道を説いているのです。よって無用な殺生はせず、よほどの状況にならなければ刀は抜かないのです。ただ刀を持っているだけでは武士とは呼べません。古来の日本文化では、男、女、子供、階級に関係なく平等に礼儀を尽くす精神が存在していたのです。現在行われている「男女共同参画社会」とした政策は元々日本に存在していた価値観なのです。

しかし、いくつもの時代の中で日本にも西洋のような階級社会が存在していた時代もありました。そんな社会の中で、人を階級で区別、差別する事への反発心から武士道精神が生まれたとも言われているのです。たとえ相手がホームレスであっても礼を尽くし、困っているなら情けをかけるのです。生きている事への感謝の意味もあるのです。これこそが武士道なのです。グローバルな時代の中で日本は、西洋文化、欧米文化に大きく影響を受けてきました。明治以降、男尊女卑が強く日本に反映されたのは、階級社会からくる西洋文化、欧米文化を日本人が誤った角度から取り入れた為であると考えられます。これは男性だけでなく、女性も大きく誤認しており、互いにその間違いに苦しめられているのです。武士道精神は、成文化された書物があるわけでもないのに、何百年にも渡って日本人のDNAに受け継がれてきました。近年なぜ世界が武士道精神を尊敬するのでしょうか…?それは彼らの世界がそれとは真反対の環境であるからであり、過去どの国にも類を見ない唯一無二の精神でもあるからなのです。

武士道を心得る者は、頭を下げて挨拶をし、正座をして敬語で話をするのです。礼儀とマナーを守る事を最初から全身で表現するのですから、日常生活においても余計な問題などはまず起こらないのです。この武士道精神は、ロータリーの4つのテスト真実かどうか・みんなに公平化・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうかという精神に通じるものではないかと思えます。報道されるニュースの政治経済界のトップの方々をはじめ、ネットに中傷投稿される人たちに武士道精神があるのかどうか、疑問を感じる今日この頃です。

会員卓話 **岩尾 顕治 会員** テーマ 「哲学上の幾つかの問題について」



卓話者紹介 梅田吉臣プログラム委員長

今日は、岩尾会員にお話を伺います。岩尾会員は阪大の哲学科を卒業されています。本日の話は、難しい話か優しい話になるのか聞いてみたいと思います。どうかよろしくお願いします。



卓話者 岩尾 顕治 会員

テーマ 「哲学上の幾つかの問題について」

予定していた夜間例会が中止となり、急遽、梅田委員長から卓話をせよと言われ、話させていただきます。

私は何年もロータリーに在籍していて、その間、卓話を何回もさせていただきました。大概是職業の話、業界の話、奉仕理論等をテーマに行ってきましたが、この題名で卓話をするのは初めてですので、よろしくお願いします。

大学時代は西洋哲学専攻で、学んだことが私の『**考え方の軸**』となっています。ギリシャの「哲学者」と言えば、ソクラテスとかアリストテレスなど教科書に登場する人物ですが、紀元前4～5世紀の話ですから、その頃の日本は何も書かれていない時代でした。昔は、ピラミッドを代表するような建造物とか、天文観測など結構発達していたのだらうと思いますが、それ以外の自然科学というものは、未発達でした。世界はどうやって作られているのか、万物の根源は何かとか、人間は考える訳で、そうすると専門に考える人が現れてくるのが哲学者と言われる人達で、ギリシャに於いては何人も現れ、その人達で『**万物の根源は何か**』という論争が起こり、水だとか火だとか、いろんな説が現れ(今なら物理学が発達して、それが原子だとか素粒子であるとかの形で解明)発達したと思われます。

哲学の1つの大きな課題として、『**靈魂の問題**』であります。最近「火の玉が出た」とか言わなくなっていますが、古代人は肉体と全く別に「靈魂」があって、肉体が死んでも靈魂はあると信じられ、たくさんそこら中に居ると考えられていました。また、「たたり」などする「やっかいもの」で、悪さをすると考えられていました。日本でも平安時代に悪いことが起きると、靈魂のせいになり、恐れて祈祷したりしてきました。

古代人は意識作用が脳髄によるものとは当然分らず、意識というものが死んでもそこにあると思われ、肉体とは分離してとらえました。それには理由がありまして、昔の人は寿命が短かく(平均寿命30歳程度)、従って死を恐れる気持ちから、長生きへの思いがかえって強まったと思われる事と、また、人口が希薄で老化の結果死ぬという事が分からず、肉体とは分離して捉え

た訳です。それが靈魂の発展した形を『**神様**』と古代人に意識されてきました。『**神様は全てを生み出した、世界は神が生みだした**』と、つまり**哲学的に要約すると「精神・観念が先に立って物質は後である**』という訳です。それに対して近代科学は、自然科学や地球科学や遺伝子工学等の発達により、人間は神が作ったものではなく、全ての創造主として崇める神は存在しないと証明されています。45億年前に地球が出来て、そこから生命が誕生し、進化して人間が出来てきました。全ての創造者としての神は、明らかに否定された訳です。

哲学上の問題としては、『**物質が先か、観念が先か**』という事があります。西欧の哲学者には、感覚だけが正しいという『**感性論**』、手に触って分かるものは信じるけれどそうでないものは信じないという考え方もありました。西欧の中世から近代への歴史というのは、神の支配への反抗から神を否定していく近代の精神が生まれる訳です。カトリックに対してプロテスタントという形で出てくる訳です。

『**人間の「自由」とは何か**』という問題も哲学上ある訳ですが、世間的に自由とはお金の問題に換言される場合が多いと思います。何をやるにもお金と時間が必要で、「お金さえあれば何でもできる」と言うのが世間一般の話ですが、私は『**必然性の理解が自由につながる**』と思います。ゴルフに例えば、球が右に曲がる・・・何で右に曲がるかは、物理現象だから何だかの原因があります。体の向きやパターの当てる面などを改善すれば真っ直ぐ飛びます。商売に例えると、どうやったら儲かるか・・・世の中の流れを読む・自分の仕事について分析をする・ITを導入して合理化する・コストを下げる・・・これらすべては化学・理論を研究して実現していけば必ず儲かるはずですが、人間の自由というものは、必然性を理解して科学を自分の生活に活かしていく、そこに人間の自由がある。また、人間関係で怒っている人が居るとして何を怒っているのか、自分の家族との思いがずれているとか、何が合わないのかとか、理由があると思うので、よく考えて結論が出たら克服するように実行していく・・・そこに道がある訳で、今自分の自由を妨げているのは何かそれを客観的に認識して対策を考える、こうやれば上手くいくを実践していくのが、人間の自由だと思います。

この自由と対立するかに見えますが、『**人間の意志と言うのは決定されている**』と私は思います。普通自由とは、自由意志で何でもする・自由意志に基づいたものである等言われますが、哲学的に考えますと、『**人間の意志は本当に自由なのか**』が問題で、色んな条件や環境に規定され、社会的圧力・経済的問題に拘束されて決められている中で、自分が認識し能動的に生きていく事が『**真の自由**』に到達できると私は思います。



委員会報告

野呂 和夫 社会奉仕委員長<高齢者>

丹生高校の模擬面接を昨日の8月20日に行い、無事終える事ができました。例年と違い、コロナの影響で大勢の生徒が1つの部屋に集まるのを避けるという事で、全体で行う講評がありませんでした。本来なら、ご参加いただいた会員の皆様に全体講評の中で言葉をいただく予定でしたが、後程まとめて丹生高校の先生宛にメールで送る予定です。昨日ご参加いただいた会員の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。また、今回ご参加いただけなかった会員の皆さんには、9月30日の鯖江高校での模擬面接にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。



本日のリモート出席者

- 大島 恒彦 会員
- 馬場 一彦 会員

ここにBOX報告

- 野中 敏昭 会員 岩尾会員の卓話を楽しみに
- 大橋 良史 会員 "
- 岡本 圭子 会員 "
- 佐野 直美 会員 "
- 小淵 洋治 会員 "
- 梅田 吉臣 会員 "
- 帰山 明朗 会員 " 昨日丹南高校の模擬面接お疲れ様でした
- 岩尾 顕治 会員 昨日面接に参加して本日卓話をさせていただきます
- 笹尾 昌敬 会員 すみません 早退させていただきます
- 吉田 俊博 会員 一昨日の午後免許証を拾ったとの電話があり、聞くところによれば三床山の参道で拾ったという事でした。その日のうちに手元に戻り、人の善意に救われ、人の有難さを感じた1日でした。